

修了評価の方法

	確認・評価方法	理解度・合格基準	理解不足・不合格時の取り扱い
各科目	<ul style="list-style-type: none"> ・出席簿により出欠確認。 ・担当講師がレポート等により理解度を確認。 <p>(通信課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題は全て提出し、担当講師が提出された課題の添削を行い、理解度を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の全ての実施時間に出席すること <p>・ A = 90点以上 B = 89点 ~ 80点 C = 79点 ~ 70点 D = 70点未満とし、Dの場合は、再提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やむをえず、欠席した場合は補講を受講 ・理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等の後にレポート等による再確認 <p>(通信課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等の後にレポート等による再確認
こころとからだのしくみと生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・出席簿により出欠を確認 ・講義・演習修了後に科目の時間内に実施 ・筆記及び口答試験については、担当講師が添削し、介護技術の習得度を評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習時間に全てに出席 ・こころとからだのしくみと生活支援技術の整容・移動・移乗・食事・入浴・排泄・睡眠は講義・演習時間内に試験実施して、70点以上合格 ・実習の修了評価は、出席簿により確認する。評価はA（理解している） B（概ね理解している） C（一部理解が不足している） D（理解が不足している）とし、B以上を合格 	<ul style="list-style-type: none"> ・やむをえず、欠席した場合は補講を受講 ・不合格者に対しては、科目試験が、合格になるように指導・助言・補講等の後に再試験
修了試験	<ul style="list-style-type: none"> ・全科目の修了後に実施 ・筆記試験し、担当講師が評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・全科目修了後であること ・1時間の筆記試験により修了評価を実施し、70点以上を合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格者に対しては、修了試験が合格になるように指導・助言・補講等の後に再試験